

通勤環境改善 への取組み

日東電工株式会社 豊橋事業所

会社概要



社名	:	日東電工株式会社
設立	:	1918(大正7)年10月25日 2018年10月 創立100周年
本社	:	大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階
資本金 ※1	:	267億83百万円
従業員数 ※1	:	連結 31,997名 単体 5,981名
業績(連結) ※2	:	売上高 7,931億円 営業利益 1,024億円 当期利益 820億円

※1 : 2015年3月31日現在

※2 : 2016年3月期実績

主要製品

約70の業界に約13,500の製品を提供

Nitto
Innovation for Customers

インダストリアルテープ → 豊橋事業所で製造



両面接着テープ



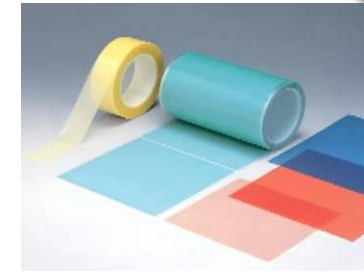
自動車用塗膜
保護フィルム



鋼板補強材



表面保護材



熱はく離シート

オプトロニクス



液晶偏光フィルム



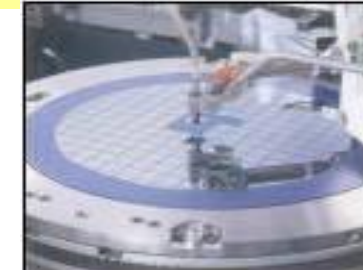
液晶位相差フィルム



透明導電性
フィルム



薄膜金属
回路基板



半導体製造
工程用保護シート

メディカル&メンブレン



経皮吸収型
テープ製剤



サージカルテープ



核酸医薬合成用
ポリマーヒーズ



海水淡水化
逆浸透膜



排水再利用
逆浸透膜

事業所の概要

豊橋事業所は粘着技術応用製品を生産するテープ事業主力工場です

所在地	愛知県豊橋市
操業開始	1962年（昭和37年）
生産高	75億円/月（2015年度）

従業員	単体従業員1,715人（2016年4月1日現在） 構内従事者計2,800人（グループ会社他含）
製品	5,067品種（50,173アイテム）
敷地面積	約330,000m ² （約100,000坪）



豊橋駅←東海道新幹線→浜松駅

通退勤における課題

★交通事故

- ・報告事故件数の約7割が通勤途上
- ・地域住民の方の安全確保

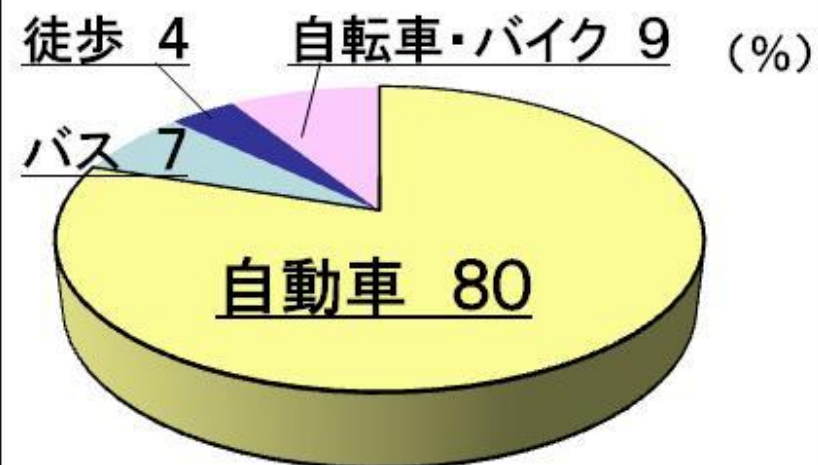
★環境への負荷

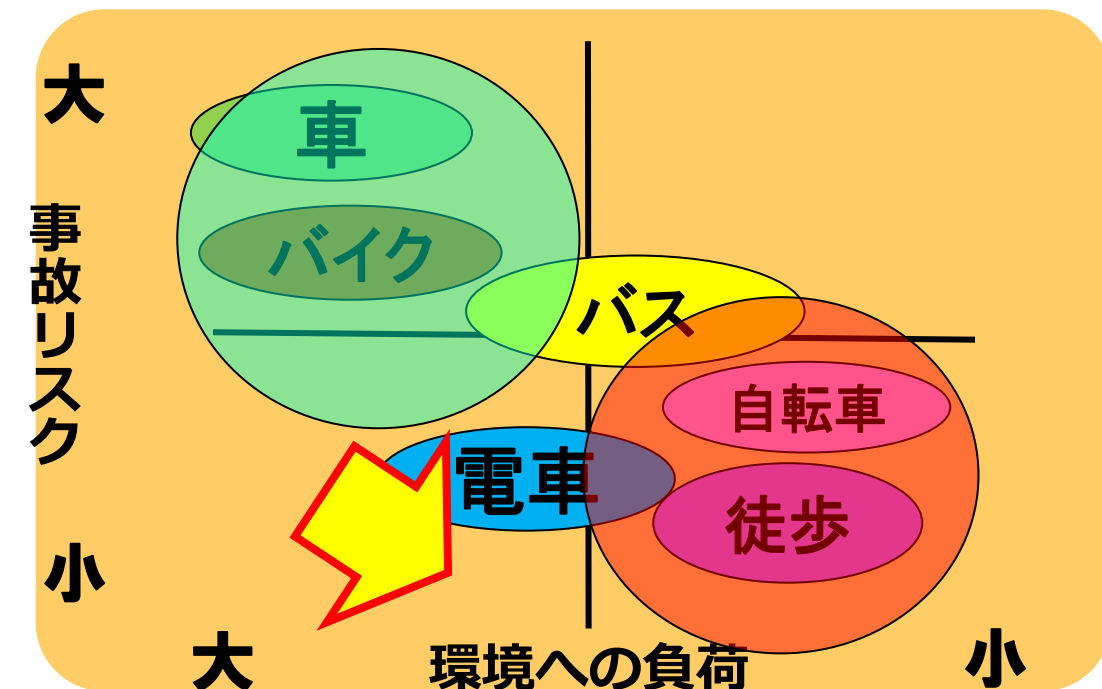
- ・従業員平均756kg／年・台 (CO2排出量)
- ・有資源の枯渇問題

★周辺道路の渋滞

- ・従業員の約8割が車通勤
- ・幹線道路の渋滞
- ・渋滞回避の為抜け道利用

通勤手段の現状（'10/上）





エコ通勤推進

- 事故リスクの低減
- 環境負荷の低減
- 県境周辺渋滞緩和
- 健康増進

**車を利用する機会を
少なくしよう！！**

対策項目

- ① 従業員通勤バスの運用
 - ・居住地区を参考に4ルートで試験運用

- ② 自転車通勤の推奨
 - ・駐輪場の整備

- ③ 公共交通機関利用の推奨
 - ・送迎バスの運行

対策①-I 従業員通勤バスの運用

・H23年4月より本格運用
・現在約300名が利用



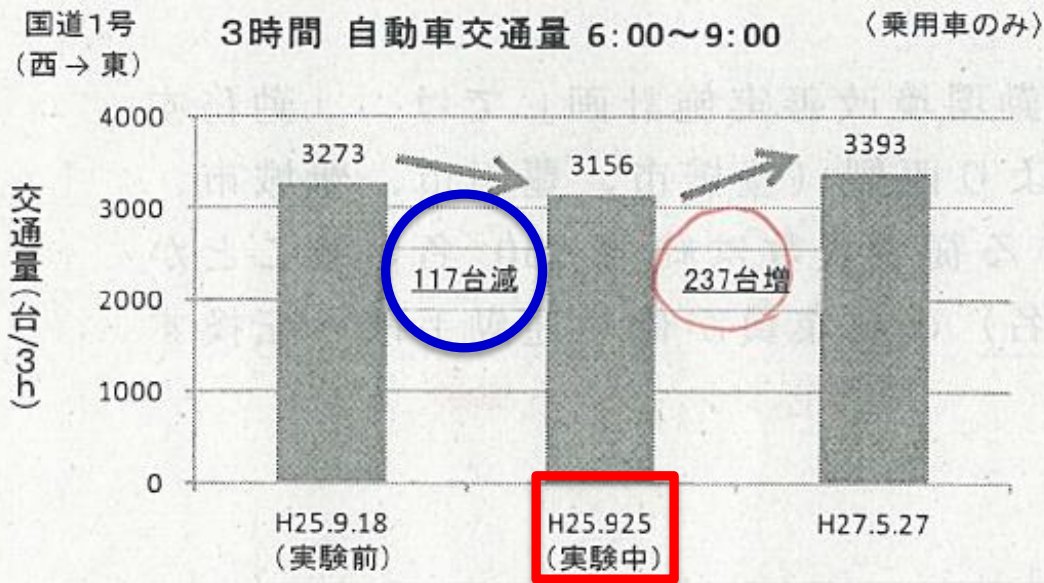
路線名	起点	経由	運行本数
■ 岩田・二川バイパス便	井原郵便局	岩田団地・二川駅西	21
■ 台町・二川R1便	文化会館前	佐藤町・二川駅南口	18
■ 南栄便	汐田橋(西部団地)	南部中学校	2
■ 豊橋駅前便	豊橋駅前	殿田橋	4
■ 新所原便	JR新所原駅		20
■ 渥美便	赤羽根	天伯・田原	11

対策①-Ⅱ 共同通勤バスの社会実験

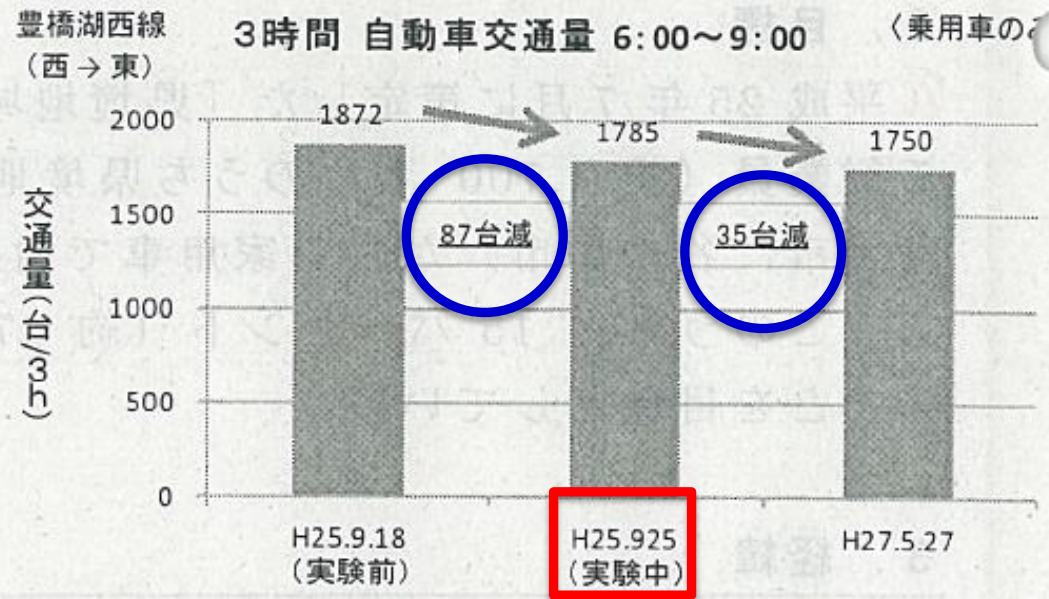
- ・県境地域通勤環境改善協議会に加盟する8社
- ・H25 9月24日～10月4日
- ・県境企業で協力して通勤車両の削減活動
- ・同協議会でエコ通勤推進策を現在も検討中



国道1号線



二川バイパス



社会実験前後の自動車交通量推移

出典: 県境地域通勤環境改善推進協議会
H27.6月度会合資料より

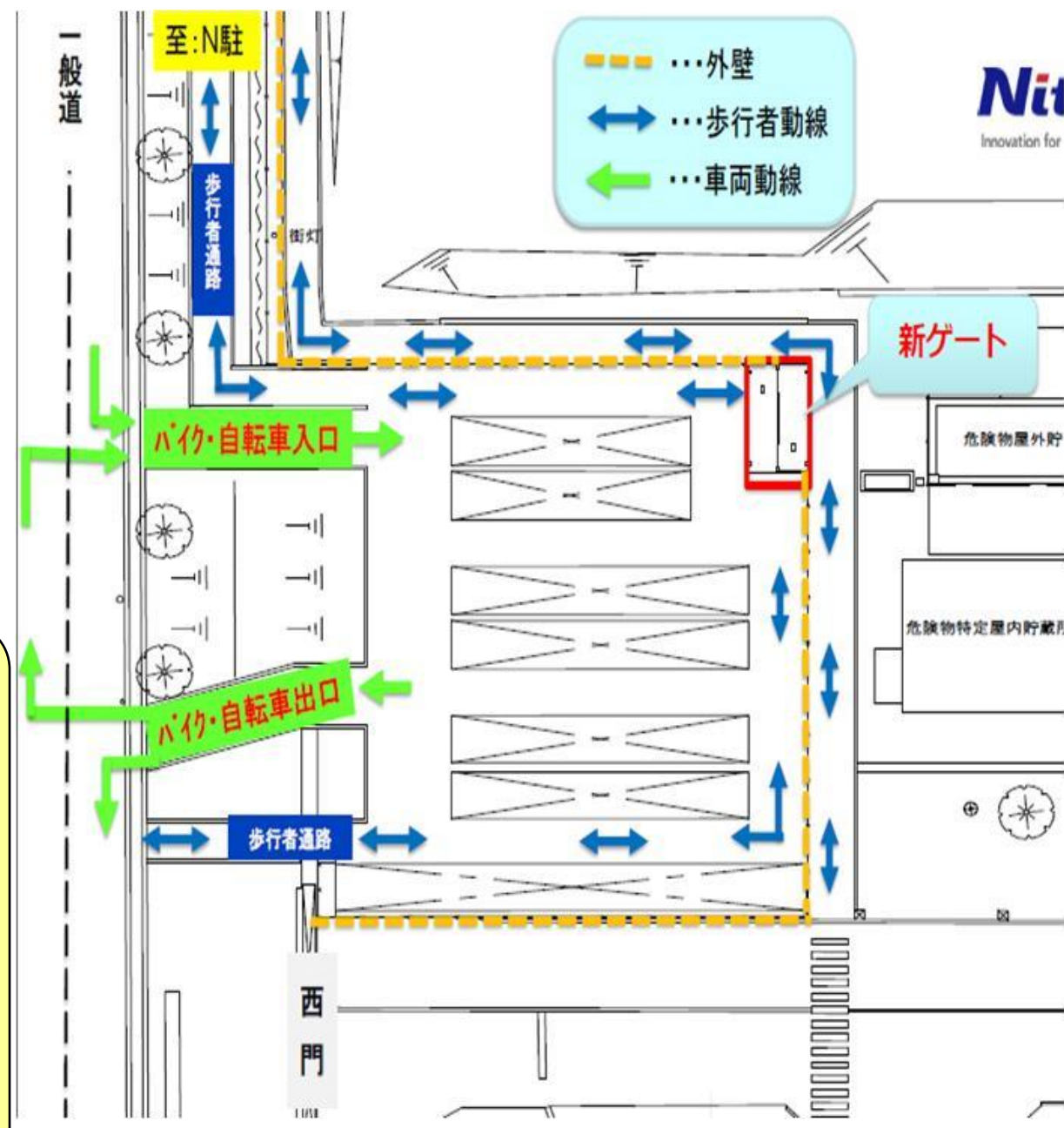
実験中は自動車交通量が少なくなる一定の結果が得られた

対策② 自転車通勤の推奨



駐輪場の整備

- ・敷地内2カ所
- ・約350台分を整備(合計)
- ・歩行者・バイク・自転車の動線を分け、安全にも配慮した設計としている



対策③ 公共交通機関利用の推奨

更衣室



更衣室の設置

- ・公共交通機関や自転車・徒歩で通勤する社員が利用できるように事業所内の3ヶ所に共用の更衣室を設置
(約300名の利用が可能)
- ・約150名の従業員が利用

新所原駅の送迎バス



送迎バスの運行

- ・駅から事業所まで約1.6Kmあり
徒歩では約20分掛る
- ・通勤負担軽減
- ・歩行中の安全確保

対策の結果

項目	対策前	対策後
自動車通勤率	80%	66%
自動車通勤 年間CO2排出量 ※1	1,070トン	910トン
自動車以外の通勤者数 (電車・バス・徒歩・自転車)	230名	570名

※1 社員の平均通勤距離(往復) 13.6km、稼働240日で年間CO2排出量 756kg/台を算出

さらなるエコ通勤の推進に向けて

H28.1月より「通退勤の在り方」を考える社内検討(PJ)チームを立ち上げ、さらなるエコ通勤の推進に向けた取組みを進めている。



若手を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ検討を開始

さらなるエコ通勤の推進に向けて

検討項目

検討内容

通勤バスの拡充

- ・利用者の拡大
(現行比20%UPの360名を目指す)
- ・利用基準の見直し
⇒納得／妥当性、臨時対応、併用可否
- ・現行路線の増便
⇒ルート・停車位置の見直し

事業所周辺居住者の の 徒歩・自転車通勤化

- ・通勤に関するルールの変更
⇒周辺居住者の車両乗入制限
- ・健康増進のPR
⇒他イベントや行政と連携
- ・環境整備
⇒駐輪場の増設、更衣室の増設

ご清聴ありがとうございました